

地域の自律に向けた活動や課題解決のために行政も、ともに汗を流します！



パートナーシップ協定とは、「神戸市民による地域活動の推進に関する条例」第9条に基づき、地域と神戸市がともに地域課題の解決に協力して取り組む関係を深め、協働と参画のまちづくりを推進するための協定です。

そのとおりや！

北須磨団地地区の「まちの達人」は言う...

北須磨団地地区は、まち開きから40年を超えたオールドニュータウンですわ。住民の高齢化という大きな課題がまんねや。

ウチらは、平成16年から「あいさつ運動」の取り組みの強化を進めてます。「防犯のまちづくりはあいさつから」や思います、ほんまに。おかげさんで、平成14年には団地内で44件ほどあった犯罪件数も、ここ数年では10件以下に減ってきてます。

こんなふうにやってます！

- ・小学校の総合時間を使って、まちの歴史とあいさつ運動を紹介
- ・小学校の登校時に、毎朝欠かさず一人ひとりへあいさつ

- ・輪番制で、必ずみんなが役割を持つように
- ・はじめての人は簡単なことから慣れていくように
- ・集まりがあったときは、全員がみんなの前で発言できるように

あいさつの秘訣はこれ！

- 「あ」…「明るく元気に」
- 「い」…「いつでも」
- 「さ」…「先に」
- 「つ」…「続ける」

ホンマやで！



毎朝あいさつ！

野田北部地区の「まちの達人」は言う...



みんなできーんパトロール！

野田北部地区は長田区の西端にある、情緒あふれる下町です。私らの地区では、いろんな地域団体がゆるやかに連携する「野田北ふるさとネット」というのがありますねん！

きっかけは、震災復興のプロセスです。ハードの復興まちづくりが一段落したあと、地域団体の連携が求められるようになったんですわ。それで、地域のいろんな団体・住民の視点による気付きがあり、「ゴミが多い、駐輪マナーが悪い」などマナーやモラルの課題点が見えてきて、一緒に活動をはじめたんです。

こんなふうにやってます！

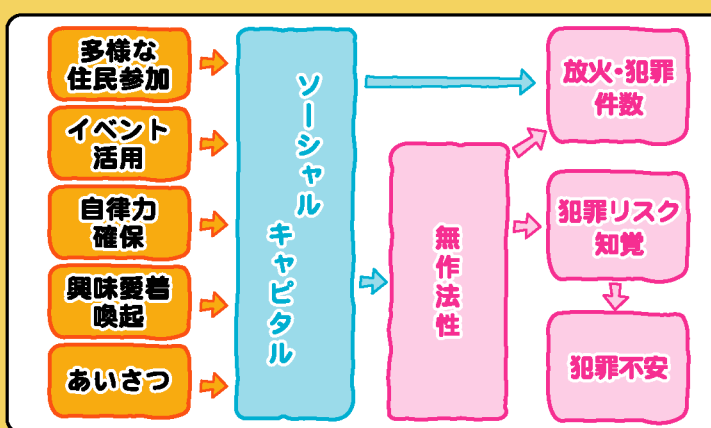
- ・月一回の「カンガエールサークル」で情報交換
自治会、婦人会、老人会、NPO等、地域の主だった団体の会長や役員が顔を合わせて色々な調整をしています。
- ・できることは「ヤッテメールサークル」で実施
各団体どうして、連携できそうなことがあれば、一緒にやるようにしてますねん。



野田北ふるさとネットでは、地域に関わりのある団体や人々をネットワークで結び、各団体の情報交換や、企画運営の調整などを行っています。

ソーシャルキャピタル（人と人とのつながり）が地域の安全・安心感に与える影響

神戸市では、「神戸市地域活動推進委員会」をはじめ、市民、事業者、大学など多様な関係者の協働と参画のもと、平成18(2006)年度から5年間、地域力の源泉である「ソーシャルキャピタル」について研究してきました。その効果や形成を促進する要因及び効果的な取り組み、地域の安全・安心感との関係などを、全市及び概ね小学校区を単位に、自治会・管理組合基礎調査などのアンケート結果や犯罪件数など行政データを活用して、計量社会学的手法により分析しました。その主な成果は下記のとおりです。



○ソーシャルキャピタルが地域の安全・安心感に与える影響を実証し、その構造モデル（上図参照）を導き出しました。実証された内容は、以下の3点に集約されます。

- 5つのソーシャルキャピタル形成促進要因は、それぞれに地域のソーシャルキャピタル量を高める効果がある。
- 無作法性（路上のゴミ、壊れた街灯、喫煙中高生など地域が荒れている度合い）が抑制されると、放火・犯罪件数、犯罪リスク知覚（犯罪にあったり、起こる可能性があると考えたこと）、犯罪不安（犯罪に出合う不安感）が抑制される。
- 地域のソーシャルキャピタルが無作法性および犯罪実績を抑制する方向へ影響を及ぼしている。

○地域の特性ごとに、ソーシャルキャピタルを量にすると効果的な取り組みを、下記のように導き出しました。

地域タイプ	特徴	効果的な取り組み
小規模 コミュニティ型	農村地域など、人口がかなり少なく児童数も少ない、高齢化率や戸建て持ち家率は高く、居住年数が長い地域	多くの住居の 住民の参加
カールド タウン型	持ち家率・高齢化率が高く、人口が減少気味で児童数が少ない地域	住民主体の イベント 地域組織の 人任せでない
新興 ニュータウン型	人口、児童数が多く高齢化率が低い、居住年数が短めで戸建てが多い地域	あいさつ の励行 地域組織の 人任せでない
マンション タウン型	人口、児童数が多く高齢化率が低い、居住年数が短めでマンションが多い地域	多くの住居の 住民の参加 あいさつ の励行
インナー シティ型	人口は中規模で平均世帯人数が2人で児童数も少なく、借家率が高い地域	多くの住居の 住民の参加 地域組織の 人任せでない

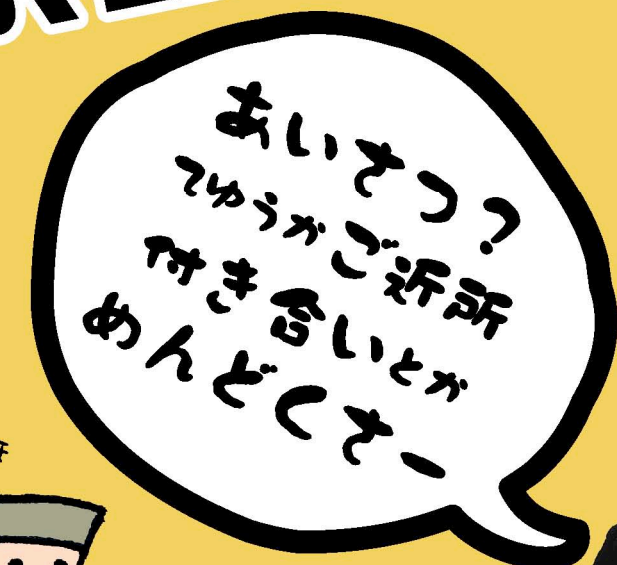
以上のことから、「活発な地域活動が、人と人とのつながり（ソーシャルキャピタル）を活性化させ、その結果として地域の安全・安心感を高める」ことが実証的に確認できました。近所の人たちとあいさつをかわすことや、身近な地域活動を活発に行うことが、私たちの地域を安全・安心なみんなが暮らしやすいまちにするのです。

今まで、地域活動はちょっと...と思っていたあなた、まずは、誰でも気軽にできるあいさつから始めてみませんか！



あいさつしたら... 安全・安心なまちになる!?

活発な地域活動が、人と人とのつながり（ソーシャルキャピタル）を豊かに！



神戸市
神戸市地域活動推進委員会

問合せ 神戸市 市民参画推進局 参画推進部
地域力強化推進課
TEL: 078-322-5189

R100 リサイクル連性 KOBET
この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルで使っています。
UNESCO City of Design
神戸市広報印刷物登録 平成22年度 第214号 (広報印刷物規格B-1類)
編集: 神戸市 市民参画推進局 編集協力: 有限会社 スタジオ・カタリスト

地域活動が活発になり、人と人のつながりが豊かになれば、暮らしやすい安全・安心なまちになる！

地域活動を頑張れば…ソーシャルキャピタル「人と人のつながり」が豊かになる！

人と人のつながりが豊かな地域では、失業率や犯罪発生率が低く、出生率が高いなど、安全・安心に関わる暮らしの満足度が高まることが明らかになっています。また近所づきあいなど住民どうしの交流やお互い様といった互恵的な規範、思いやりや信頼関係が深まるなど、「まちがよくなる」ことが分かっています。阪神・淡路大震災では、普段から住民同士のつながりが豊かで地域活動が活発な地域ほど、被災直後の行政機能が麻痺する中、住民の救出、救援活動、その後の復旧・復興のまちづくりが円滑に進みました。このように震災の教訓として、あらためて地域での助け合いの大切さを再認識した神戸市では、人と人のつながりを豊かにする要因を、計量社会学の手法により導き出しました。それが、下の5つのポイントです。

5つのポイントで…安全・安心なまちになる？



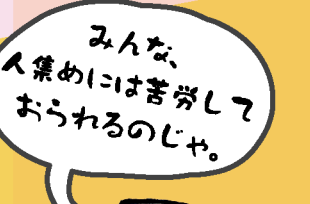
あいさつの励行

どうやって…?

- **まずは自分から**
あいさつは自分から先に始めることが大切です！待っていても、人のつながりは生まれません。
- **いつもあいさつ**
時と場合によって変えるのではなく、いつでもあいさつしましょう。習慣づけると、面倒でなくなります。
- **無視されても続ける**
あいさつしても無視されることがあります。でも続けられれば、いつかその人の態度は変わります。
- **明るい声で**
できれば明るく大きめの声であいさつした方が、効果も高いです。



ご近所同士、あいさつを行うことは、住民間のつながりをつくる最初のきっかけになります。そこから様々な関係が生まれてきます。ソーシャルキャピタルを豊かにするために、あいさつは極めて重要な、最初の一歩であるといえます。



「住民」とは、そこに住んでいる人だけを指しません。地域団体や事業者、近年その役割がますます重要になっているボランティアやNPOも含んでいます。それぞれ多様な立場にある住民が、できるだけ多く、幅広く、様々な地域活動に参加することが大切です。

多くのいろいろな住民の参加

どうやって…?

- **まずは知り合いから**
いきなり他人の参加を求めるのは大変。まずは親しい知り合いに声を掛けてみましょう。
- **課題や興味を共有する人へ**
共通する課題や興味を持つ人は、考えが近いことが多く、参加の輪を広げていきやすいです。
- **地域団体と協力して**
自治会、ふれあいのまちづくり協議会などの地域団体は住民のネットワークを多く持っています。協力関係をつくりましょう。
- **行政も活用**
区役所など行政には、多くの地域団体やNPOなどの情報が集まります。活用しましょう。



どうやって…?

- **まずは自分のまちをゆっくり散歩**
親しんでいるつもりでも、知らない場所はたくさんあります。まずは自分のまちから歩きましょう。
- **何人かでお宝発掘**
一人よりも二人、二人よりも三人、複数の視点で見た方が、多様なお宝が発掘できます。何人かで歩いてみましょう。
- **カメラと地図で記録を**
カメラと地図を持って歩くと、きちんと記録に残ります。撮影箇所を地図に記録して歩きましょう。
- **何人かで話すだけでも**
「わがまち」について何人かで話すだけでも、色々面白い発見があります。一度試してみてください！



まちのお宝の発掘

まちの魅力やお宝は、見方ひとつでゴロゴロあるぞい！

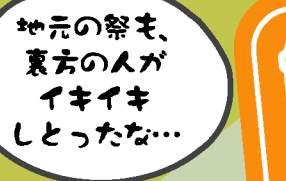
普段何げなく喜んでいる自分のまちも、改めて見直すことによって、新しい発見がいくつもあるものです。また他の住民の立場からは、別の側面が見出せます。まちのお宝、つまり地域が持っている魅力やセールスポイントを、住民自身が発掘、発信するといった、地域への愛着を深める取り組みを行うことが重要です。



住民が主体となって、企画し、開催し、参加するイベントは、その過程において、様々な人のつながりを生み出します。新しい出会いがあり、人材が見出され、ともに汗を流し、成果を共有する機会が生まれます。こうした住民主体のイベントを開催することが効果的です。

どうやって…?

- **小さな規模から、とまかく始める**
意欲があって、一緒にやる人が集まれば、どんな小さな規模でも、まずはやってみましょう。色々見えてきます。
- **人集めは、ロコミで**
地域のイベントで参加者を増やすには、ロコミが一番です。知り合いから増やしていきましょう。
- **既存の地域イベントと連携**
これまで既に続けられている、地域のイベント（行事や祭）との連携を試してみましょう。相乗効果が期待できます。
- **他地区、他団体との連携も**
関心が同じであれば、他地区、他団体との連携も十分可能です。どこも同じような悩みや楽しみがあるものです。



住民主体のイベント

地域組織の人任せでない運営



自治会やふれあいのまちづくり協議会など、様々な地域活動を行う組織があります。その運営を人任せ、行政任せにしてしまうと、組織の力は衰え、地域住民が本来持つ力を発揮できなくなります。地域組織がその運営において、自律性を高め、継続性を確立・維持する工夫を行うことは、その組織の力を高める上で重要です。

どうやって…?

- **組織づくりは仲間づくりから**
一緒に、自ら動いてくれる仲間づくりが、人任せでない自律的な組織づくりの第一歩です。
- **人材発掘は「一本釣り」で**
地域づくりの人材発掘は「一本釣り」が基本です。「この人なら」という気になるヒトに、積極的に声を掛けていきましょう。
- **資金確保をいつも意識に**
資金なしでは、なかなか自律的な活動ができません。会費や助成、収益事業など資金確保の道を、いつも念頭に置いておきましょう。
- **引継ぎをちゃんと**
役員の決め方や運営が確実に引き継がれるよう、マニュアルなどを作りましょう。
- **外部組織、人材との連携**
自律的な組織運営が進めば、大学やNPOなど外部組織や人材と連携することで、より一層のステップアップが可能です。



地域活動のコツをもっと詳しく知りたいなら『地域活動ちえぶくら』がオススメ！

神戸市ホームページ上で「ちえぶくら」を入力し、検索をクリック！

ソーシャルキャピタル (Social Capital) とは？

社会関係資本と訳されることが多い。1993年、アメリカの政治学者ロバート・パットナムが『哲学する民主主義』の中で提唱した「人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる「信頼」「互酬性」「ネットワーク」といった社会的仕組みの特徴」という定義が一般的です。ここでは、より理解しやすくするため「人と人のつながり」という訳を充てています。

あなたのまちに効果的な取り組みは？

- **小規模コミュニティ型のまちに効果的！**
- **オールドタウン型のまちに効果的！**
- **新興ニュータウン型のまちに効果的！**
- **マンションタウン型のまちに効果的！**
- **インナーシティ型のまちに効果的！**

最後のページであなたのまちの地域タイプをチェックできます！